

サロンでの気づき

サロンを訪問させて頂き、気づかせていただいたこと、お聞かせいただいたことなどをお伝えさせていただいておりますが、今月は新球場で盛り上がった広島カープを取り上げさせていただきました。

○常に全力で

広島カープの緒方孝市選手の引退試合が先日行われましたが、ご覧になられた方も多いと思いますが、最後の打席で三塁ベースにヘッドスライディング、さらにワイルドピッチで本塁へ果敢なヘッドスライディング、足がもつれて惜しくもホームベースに届きませんでした。最後まで全力でプレーする姿に胸が熱くなりました。



緒方選手の引退の挨拶を掲載させていただきます。

「子どもの頃の夢はプロの野球選手になることでした。その夢が実現しカープに入団して、23年間も大好きな野球を思いっきりやれました。

人に負けたくない。この世界でなんとか成功したい。そういう想いで一生懸命バットを振って、がむしゃらに練習してきました。

常に全力で、試合が終わればユニフォームが真っ黒に。そんな選手でありたいと最後の最後まで思っていました。

気が付けばそのユニフォームが汚れなくなり、そして走ることも守ることも自分の思うようなプレーが出来なくなったと感じ、引退を決意しました。

本当にケガの多い野球人生ではありましたが、家族の支え・チームの仲間の支え、そしてなによりファンの支えによってここまでこれました。

カープのユニフォームを着て23年間野球が出来たことを誇りに思います。ありがとうございました。」

セレモニー終了後、記者会見

「本当に長い長い野球人生だったとつくづく思います。

引退するときは、自分の野球スタイルが出来なくなった時と決めていました。

今日の試合で、監督は最初からという用意をしてくれていたんですけど、今日見てもらって分かるように、サードまでまともに走れないし、体もいっぱいいっぱいなんです。本当にいま自分がだせる力を守りの1イニング、1打席で全部出し切れたと思います。

今日の試合は僕の野球人生の中で一番思い出に残る試合でした。声援が鳴り響いた時に本当に目頭があつくなりました。けど、ボールが見えなくなると、集中しなくちゃいけないと思って打席に立ちました。打席では、どうい結果であれ、初球を打つことは決めていました。野球の神様が23年間頑張ったって打たせてくれたんでしょうね。

初めての胴上げだったんですが、チームメイトが背番号と同じ9回胴上げもしてくれましたし、本当に気持ちのいい胴上げでした。

みなさんのおかげで本当にここまで悔いのない野球人生が送れました。感謝の気持ちでいっぱいです。23年間本当にありがとうございました。」

○悩むのは10年はやい

このような23年間幸せな野球人生を送られた緒方選手ですが、それを支えるには相当な日々の鍛錬があったことがわかります。東出選手がインタビューで、緒方のことを「修行僧」と呼んでいました。午前中に東京から移動して練習している「修行僧」の姿を見て、そのとき悩んでいた東出は、「悩むのは10年はやい」と思ったとコメントしていました。

広島カープも野村新監督のもと新たなスタートをきりました。「優勝を目指す！選手にもそういう気持ちで、Aクラスを目指すというのはやめてもらいます。それが周りから笑われようが何しようが、自分たちが頑張って戦っていく、そういうチームにしていきたいです。」と熱く語っていました。

秋季練習もスタートし、今までにない猛練習が始まったことが報じられています。私達も一流の仕事をめざし、一日一日を目標に向かって修行し、来年の今頃はカープと一緒に喜んでいたいと思います。悩むのは10年はやい。頑張りましょう。

おすすめBOOK

「スイッチ・オンの生き方」村上和雄著

子供にも教えたい

遺伝子が目覚めれば、人生が変わる

「この本は、いわば私の50年の遺伝子

研究の総決算書であり、また新たな

挑戦への決算書ともいえます」

